

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		(運営推進会議を活かした取り組み) ホームでの取り組みなど地域のご協力を頂く必要のある計画が多くあるため、その協力対象となる場所、人などの関係者をよび理解と協力の拡大に努める会議として活用していく必要がある	・ホームの事業計画対象となる関係機関を会議に招待する	・事業計画に合わせて会議の参加者を招待(増やして)いきたい く	12ヶ月
2			・作品展示の協力機関として『清武町交流プラザ 四季の夢』に会議参加を呼び掛ける	・10月運営推進会議にて『清武町交流プラザ 四季の夢』所長をお招きし、利用者作成の「一輪挿し」作品展示の協力を依頼するなど、生活エリア拡大できるよう取り組んでい	6ヶ月
3			・利用者様も参加できる	・取り組みの主体となっている利用者様などを会議に呼び掛け参加していただき、会議参加者に対して利用者自ら活動の様子をPRできるようにする	24ヶ月
4		(災害対策) 事業所の防災計画(年6回)を実施しているが、利用者様が参加できる訓練等の計画は未実施である。また、災害時、救助に来て頂く方々(消防団)がわかるよう、避難経路図、一時避難場所の掲示をしていく必要がある	・利用者参加型の防災訓練の実施	・避難訓練への参加 ・実施可能な利用者には消火器(初期消火)訓練に参加する	12ヶ月
5			・避難経路図、一時避難場所ポスターの作成	・利用者・消防関係者にも分かりやすい避難経路図の作成 ・一時避難 場所のポスター作成又は、一時避難場所まで散歩の定期化を図り利用者の方への意識付けを図る	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。